

## 地学時事

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00006100">https://doi.org/10.14945/00006100</a>

## 地 学 時 事

本年5月24日マーキュリー計画の第2号であるオーロラ7はカーペンター少佐の操縦で地球3周4時間56分の飛行後無事回収された。

8月11日ニコラエフ少佐の操縦するポストーク3号，続いて12日ポポビッチ中佐の操縦する4号が打上げられ，アベック飛行71時間の後，殆んど同時に無事着陸した。3号の94時間25分の宇宙滞空記録は全く驚くべきもので，飛行距離も実に260万Kmに達しこれは月迄の距離の丁度7倍に当る。

10月3日にはマーキュリー計画の第3号シグマ7はシラー中佐の操縦で極めて順調に地球6周飛行に成功。米ソの人間衛星競走は華やかに続けられている。

5月9日から26日迄世界17カ国200人の学者が参加して，わが国ではじめての国際火山学会が開かれ，「火山噴火の時と場所の予知」と，「マグマと噴火の性質との関係」の二つのテーマで盛大な講演会・討論会が開かれた。

学会終了後間もない6月17日突然焼岳が爆発，山小屋の番人2人が重傷を負い，22日には小規模の泥流が流下したが幸い被害は起らなかった。続いて6月29日十勝岳が爆発し，硫黄鉱山で死者4名，行方不明1名を出し降灰による農作物の被害が生じた。

8月24日には三宅島噴火，熔岩が海中に流れ込んで壮観であったが，翌日迄に大体収まり，以後9月初めまで強震を混えた群発地震が島の人々をおびやかした。相続く火山噴火にマスコミも一時騒然となったが，別にこれらの火山の噴火の時期が一致したことに理由があるとは考えられない。

新幹線の新丹那トンネル(7905m)が9月20日，僅か満3年で貫通。16年の歳月と67名の犠牲者を出して昭和9年に完成された旧丹那トンネルの難工事と比べると，技術の進歩に感歎する。しかし今回の工事でも既に12名に上る犠牲者が出ているのであって，不安定な火山噴出物の累層，多くの断層，そして硫気粘土による盤ぶくれ，恐るべき大量のそして突然の湧水など悪地質に挑むトンネル工事が決して容易なものではない事には変わりがないのである。

T. S